

地域おこし協力隊の そっちょっちょ! 高千穂

未経験と感謝のフルコンボ

夏真っ盛りとなり、暑い日が続きますね。早く冬になってくれーと思う、暑さより寒さに強いまちづくり担当の宮脇です!

さて、7月号の広報を見た方はお気づきかと思いますが、5月に第1子が生まれ、めでたく父親になりました。

立ち合いもできず、退院するまで会えないという「Theコロナ禍」な出産になりましたが、母は強い本当に強いですね。妻は1人で頑張ってくれて、もうほんとに感謝しかないです。あの時はありがとね!

退院してからというもの、気づけば1カ月、2カ月とあっという間に時間が過ぎ、子供の成長の早さに毎日驚いています。



退院直後(生後10日)

そして、未経験のフルコンボ。おむつ替えや沐浴、寝かしつけなどなど。書き出したらきりがなくくらいに未経験な事がたくさんありました。

思春期&反抗期の真っ最中だった中学生時代の自分。あの時は親に対して「うるせー」だの「くそばあ」「くそじい」とよく言っていました。反抗しては殴られての繰り返し。なってみな親の気持ちが分からんもんで、今まさに両親への感謝の気持ちを改めて感じております。あの時は暴言ばかり吐いてごめんねー。



祝50日

そして、昔はかわいかったのにね～と言っちゃう気持ちも分かります。息子に将来反抗されたらどうしようと、今ごろから心配になっているわたし。笑ちょっと早すぎますかね? ほかにも心配事は山ほどありますが、それに負けないほどの楽しみもあります!

これからも我が子の成長を楽しみに家族3人で暮らしていければと思います。



島根のじい(私の父親)と

今月号は、どっかのタイミングで荷物と一緒に島根に送ろうと思う今日この頃。

町広報は新天地での息子の活動を知れる良いツールですね。

両親はいまだにまだガラケーなので、早くスマホに変えてくれないかなー。



宮脇 岳
Miyawaki Gaku

島根県出身。
令和2年4月に建設課まちづくり推進係に着任。
令和3年2月から天岩戸交流センターあまてらす館に外向。ミッションは「天岩戸交流センターあまてらす館」を活用したイベントの企画考案や高千穂町の観光や地域情報の発信。

無病息災を願う 高千穂神社夏季大祭・夏越大祓

7月29日、高千穂神社(後藤俊彦宮司)で、夏季大祭と夏越大祓が行われ、神事と高千穂高校神楽保存会と高千穂中学校の生徒4人による神楽「沖逢」が奉納されました。
その後、「一人形流し」を行うため、高千穂峡へ移動。祓詞を唱えた後、五ヶ瀬川に架かる神橋から人形(元日)から同日までの約2400枚を投げ入れ、半年間の心身のけがれや災難を祓い清めました。



ミニログハウスが完成 「くつつログ」でくつろいで

ライオンズクラブ国際協会371B地区から寄贈されたログハウスが、9日に色を塗り終え完成。町内の保育施設と小学校に名称を公募し集まった作品(58点の中から、田原小学校6年の藤野由依さんの「くつつログ」に決まりました。
藤野さんは「かわいい看板ができてとてもうれしい。自分が考えた名前のログハウスで読み聞かせしてもらえるのが楽しみ」と話しました。



犯罪や非行防止と更生への理解を 社会を明るくする運動メッセージ伝達式

7月1日、第72回「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の「チカラ」の内閣総理大臣メッセージ伝達式が町長室で行われ、高千穂地区保護司会(谷川秀憲会長)の廣末弥壽雄高千穂支部長がメッセージを読み上げ、甲斐町長に手渡しました。
これに対し、甲斐町長は「犯罪や非行のない安心安全な町づくりのため、今後とも協力していきたい」と話しました。



生きるみんなの応援隊「ワッショイ星人」 世界農業遺産の油彩画を寄贈

7月4日、現代美術家のアーナー恵子(延岡市在住)さんが、町へ油彩画を寄贈しました。
絵は「世界農業遺産ワッショイ」と題し、手力雄命や棚田など高千穂をイメージしたもので、白を基調としてあえて色を付けず素朴さを表現。自身が生んだキャラクター「生きるみんなの応援隊・ワッショイ星人」が、楽しく踊る姿や行進する姿を描かれ、神秘的かつユニークな作品となっています。

